

# 日本浮沈のカギ握るHB

ジャパンでは広瀬(トヨタ自動車)とのコンビが一番多かった。視界に入っていないなくても位置取りが分かるくらい呼吸が



村田 互 (元日本代表)

合った。ただ、合わないSOOに自分を合わせるのもSHの面白さ。今回代表の吉田、矢野もこの辺りを理解してほしい。

強豪国との対戦で気を付けたいのは、FW戦では相手が圧倒的に強いこと。SHが自ら密集に潜り込まないとボールを出せないこともある。SHがFWをうまくリードしないと、リズムをつかめないまま終わってしまう。FWが当たるポイントをずらして球出しを早くするなど相手の粗密を的確に見抜くことが必要。こうした戦術をFWに要求できるかもSHの資質だ。FW戦で劣勢

な分、HBの判断は日本の生命線といっている。今回の代表の特長は、しつこい防御で失点を少なくしていること。これはカーワンの功績だ。逆に攻撃力が課題になっている。しかし、強豪国にしても、トライは簡単に取れない。いけると判断したらDGも積極的に狙

うべきだ。相手ゴール前まで行ったら、時間を掛けても得点すること。攻め込んで無得点というのは、疲労が増すばかりでなく、試合の流れを失ってしまふ。FWも筑内ら近年のジャパンでは最高のメンバがそろった。HBが頑張れば、結果を出せると思う。桜の誇りを胸に頑張してほしい。

—おわり

## 桜の背骨

ラグビーW杯 9月7日開幕

=17=

むらた・わたる 1968年、福岡県出身。専大に進み、関東リーグ戦優勝。東芝入社90年、代表入り。91年からW杯3大会連続出場。99年、日本人初のプロ選手として仏バイヨンヌと契約。01年にヤマハ発動機入り。通算キャップは41。